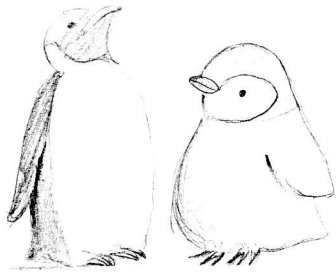
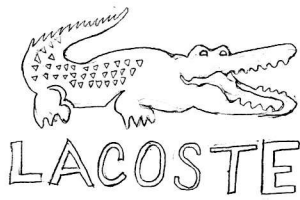
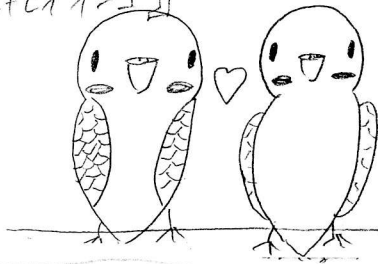


1 大切なもの(好きなもの) についての絵を描いてください。



ペンギン  
イラストとかで描かれて  
いるペンギンは可愛いのに  
実際には見るのくればし  
がとんがうていて、その  
ギャップが面白い。

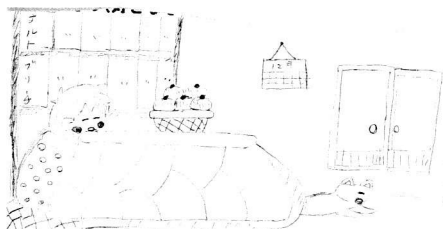
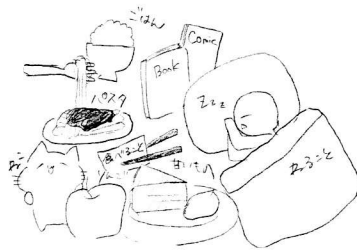
ヒバリ インド



誕生日にちがって  
アムナム  
コングポートラ

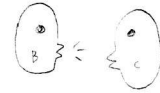
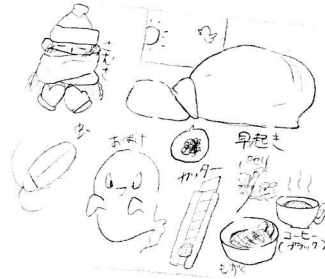
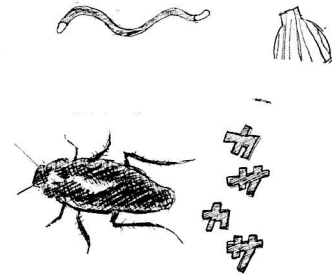
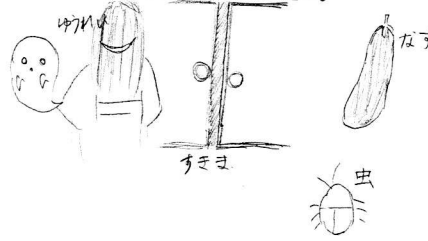


ねこポット  
うさぎ



冬は寒いけど、  
家の中は暖かいから  
冬は好きです。

2 嫌いなもの についての絵を描いてください。



噂話



藤原新也の『課外授業』を見ての感想 (敬愛大学子ども学科2年生)

- ・世界からみた視野・世界中を自分の目と足で見えてきた藤原新也さんだからこそ、死を見つめ生を考えるという考え方ができるのだと思いました。
- ・放浪の旅に出たい。
- ・学校の教師では思いつかない授業方法だと思った。
- ・教師以外の授業は新鮮で、児童により刺激になる。
- ・写真を撮って考えるということがとても深い。
- ・写真を撮るとき眼を使い足で行って写真を撮らせ、写真に文章を付ける時は考えさせる。
- ・写真を撮ることで五感を使う。感覚的に撮ったものを見つめ直す。
- ・消えていくものを写真に撮りたいという藤原さんの考えは興味深い。
- ・なぜ藤原さんの写真は心に訴えるものが多いのだろうか考えた。
- ・嫌いなものを嫌いで終わらせないところがすごい。
- ・好きなものだけでなく嫌いなものに目を向け、それと向き合いことで、今まで嫌いだったものへの見方が変わるんだなと思った。
- ・嫌いなものの中からみつけれよきは好きなものから見つけるよきより価値がある。
- ・嫌いなものから子ども達の世界が広がっていく。
- ・子ども達にとって少し難しいものかもしれないが、素晴らしい授業だと思った。
- ・生命のことをテーマにしていて、面白い。
- ・生と死に向かい合う時間を作る。
- ・生まれて死ぬまでどのように生きるか考えさせられた。
- ・生き方の選択=死に方の選択。
- ・人生は生き方も選ぶことができ、終わり方も選ぶことができる。
- ・花が枯れてかわいそう→自然なことだからかわいそうではない。
- ・枯れているのも魅力的だ。
- ・人と人との出会いと別れは必然であり、いつか死んでいく為に今をちゃんと生きていくんだということ
- ・藤原氏の写真と言葉から読み取れた。
- ・人生経験が豊富で、言葉に重みがあるなと思った。
- ・表現の仕方が面白かった。
- ・子どもの想像力を大事にして子どもの可能性を引き出しているような授業だと感じた。
- ・道徳の授業、美術、国語にもなるよい授業だと思う。
- ・子ども達の感性の刺激になる。
- ・イメージしたものをきちんと発表すること大事。
- ・小学生とは思えないポエムがたくさん飛び出してきて驚きを隠せない。
- ・様々な角度からものごとを考えることの重要性を学びました。
- ・自分自身も視点を変えて見ることが大切だと思う。
- ・ものの見方や考え方について考えることのできる内容でした。
- ・人生において何が大切かがわかった気がした。